

平成30年度 植物生産研究センター 事業活動レポート



西宮の個性ある都市緑化の維持・創出



生物多様性にしのみや戦略の推進



特色ある花と緑のまちづくりの推進



防災緑化のための取り組み

平成 30 年度における活動レポート

はじめに

北山緑化植物園内にある植物生産研究センターは、鳴尾浜臨海公園南地区内にある花工房と連携し、市民の皆さまと共に様々な緑化に関する取り組みを行っています。この事業レポートは、そうした取り組みについて市民の皆さまにわかりやすくお伝えするためにまとめたものです。

植物生産研究センターについて

植物生産研究センターは、植物バイオテクノロジーを活用し、文教住宅都市の景観向上と特色ある花と緑のまちづくりを進めるための拠点として、平成 2 年（1990 年）に設立されました。施設の特長を生かし、市民の皆さまと共に様々な取り組みを行っています。

花工房について

平成 7 年（1995 年）に設立された花工房では、植物生産研究センターで開発した西宮市オリジナル植物などの花苗を増殖・育成し、花のコミュニティづくり事業や公園・街路の花壇などに供給しています。また、花壇巡回アドバイスや技術講習会などの実施により、地域緑化活動を支援しています。

1 西宮市の個性ある都市緑化の維持・創出

1

桜の名所再生事業として西宮市オリジナルサクラなどを市内の各所に展開しています。



西宮権現平桜



夙川舞桜

平成30年度における植栽実施内容

- ✿ 西宮権現平桜 12本
- ✿ 夙川舞桜 16本

(平成31年3月現在)



山幹ポケットパークの夙川舞桜
(分銅町、平成20年度に植栽)

平成29年に宮城県女川町の鷲神公園(わしのかみこうえん)に植樹され、その春に開花が確認されていた西宮市オリジナルサクラは、平成30年4月も無事開花しました。



平成30年度女川町における記念植樹の経過写真

2 夙川の松を元気にする取り組みを進めています。

夙川の松と桜の景観は、西宮市の大きな特色です。

夙川河川敷緑地には、樹齢百年を越える立派な松や、市の花である桜がたくさん植えられており、「さくらの名所100選」にも選ばれています。

平成22年度から市民ボランティアと協力して、夙川の松や桜を元気にするための取り組みを行っています。



夙川における松と桜の景観

菌根菌(きんこんきん)は、樹木と仲の良い菌類で、土の中で樹木の根から栄養(光合成で作られた炭水化物)をもらうかわりに、樹木に水分や栄養(ミネラル)を与えて樹木の成長を良くする働きがあります。

西宮市では、市民ボランティア「きのこクラブOB会」との協働事業により、菌根菌を活用した次のような取り組みを行っています。

平成30年度における活動内容

1 夙川におけるきのこ調査の実施 計4回(平成30年9月~10月)

夙川のきのこ調査で採集した有効なきのこから「きのこの胞子液」を作り、松の根元にまきます。松の根に菌根菌が感染することで松と菌根菌は共生関係となり、お互いの成長を助け合うことが知られています。



夙川におけるきのこ調査

2 前年度実施の本格施用の効果測定 (平成30年12月)

平成29年度に本格施用した7本のおよそ1年後の状況を確認しました。

H29年度の効果測定結果

土を500mlを採取し、根の菌根形成率を測った結果

本格施用区：44%以上

無処理区：27.4%

本格施用区の方が形成率が高い結果になった。



前年度実施した本格施用の効果測定

3 きのご畑の育成 (平成30年12月)

有効なきのこを安定して採取するため、夙川河川敷のきのご畑に、きのごの胞子液をまきました。



4 夙川における本格施用の実施 (平成31年3月)

松を元気にするための取り組みを本格施用(ほんかくせよう)と呼んでいます。主な取り組みとして、松の根元を掘り上げて根を剪定し、発根促進材として炭(木質炭化物)を敷きならします。その上から「きのごの胞子液」をまきます。

作業を実施した松の本数：計10本
場所：西宮市結善町など



本格施用の様子

3 夙川の桜を元気にするための研究をしています。

桜についても菌根菌を活用した取り組みや、桜を弱らせたり枯らせたりするきのごの仲間「ナラタケモドキ」についての対策を研究しています。



ナラタケモドキ

平成30年度における活動内容

1 桜の根系改良資材の検討 (平成31年2月)

桜の植栽工事などで使用している土壌改良資材と、現在検討している根系改良資材の効果を比較するため、試験を行いました。効果測定は平成31年度に実施予定です。

H29年度の効果測定結果
土を500mlを採取し、各根量を測った結果
土壌改良資材：0.145g
根系改良資材：0.5648g
根系改良資材が3倍近い根量であるという結果になった。



夙川における桜の試験植栽の効果測定の様子

2 ナラタケモドキ発生地における桜の試験植栽の効果測定 (平成31年2月)

平成30年1月に、夙川のナラタケモドキ発生箇所にて市民ボランティア(きのこクラブOB会、ガーデニングクラブ自主活動グループ バイオⅡ)と共に試験的に桜に土壌改良剤を施用しました。

今回の効果測定では、ナラタケモドキの成長抑制が期待できる資材の効果について確認しました。

2 生物多様性にしのみや戦略の推進

コバノミツバツツジや市内の貴重な植物をふやしています。

広田山公園のコバノミツバツツジや、甲山の湿原植物などの市内の貴重な植物をふやし、市民ボランティアの方と共に豊かな自然を守るための取り組みを実施しています。

平成30年度における活動内容

1 コバノミツバツツジ

- ・広田山公園で採集した種子より苗420株を育成

2 企業の森の野草

- ・市民ボランティアとの協働により実生苗を育成 約6種196株

3 甲山における湿原植物

- ・甲山湿原より採集した種子から苗を育成 約5種161株

3 特色ある花と緑のまちづくりの推進

1 西宮市オリジナル植物など特色ある植物を市内に展開しています。

平成 30 年度における活動内容



エンジェルス・イヤリング
(ピンク・ラベンダータイプ)

1 フクシア‘エンジェルス・イヤリング’の開発を継続

2 花工房における花苗の生産、育成

- ・約91,000株の花苗を生産・育成
→市内の公共花壇や花のコミュニティづくり事業などに活用



花工房における花苗育成の様子



今津社前町における花コミ花壇の様子

2 市内の小・中学校などでさし芽教室を実施しています。

小・中学校などにおける環境学習事業として、西宮市オリジナル植物などを使ったさし芽教室を開催しています。子どもたちが、西宮で生まれた植物をふやしたり育てる体験を通して、生きものや命に対する豊かな感性や西宮市への愛着を育むことなどをねらいとしています。実施の際には、地域緑化ボランティアの方にサポートいただいています。

平成 30 年度における活動内容

- ・実施校：広田小学校、鳴尾小学校、高須小学校、深津小学校、浜甲子園中学校(計5校)



深津小学校 さし芽教室の様子

3 市民ボランティアと共に様々な取り組みを実施しています。

1 きのかクラブOB会

きのかクラブOB会は市民対象講座「きのかクラブ」の卒業生有志によって作られた市民ボランティア団体で、植物生産研究センターを活動の拠点としています。平成30年度は次のような取り組みを行いました。

- ・ 甲山周辺のきのこ調査
 - ・ きのこ展の開催（北山緑化植物園展示コーナー）
- 「第10回きのこ展 きのこの小宇宙～きのこの生き方～」
 （平成30年10月20日～28日） 来場者数 約647人

2 ガーデンクラブ自主活動グループ バイオII

ガーデンクラブ自主活動グループバイオIIは、市民対象講座「植物バイテククラブ」の卒業生有志によって作られた市民ボランティア団体で、花工房を活動の拠点としています。平成30年度は次のような取り組みを行いました。

- ・ 西宮市オリジナルサクラの培養による増殖および育成
- ・ 市内に自生するササユリの培養による増殖および育成
- ・ 甲山の湿原植物の増殖、育成、植物生産研究センターにおける展示



「きのこ展」の様子



西宮市オリジナルサクラの増殖の様子

4 緑化や環境について知ってもらうための活動を実施しています。

平成30年度における活動内容

1 「フラワーフェスティバルin西宮」の開催

（平成30年5月25日～27日）

- ・ テーマは「市民・事業者・行政の協働による
‘花と緑あふれるまちづくり’」
- ・ 会場は六湛寺公園 来場者数 約7,800人



フラワーフェスティバル
in 西宮会場の様子

2 「西宮フラワーキャラバンinすみれ台」の開催

（平成30年10月14日）

- ・ 会場はすみれ台中央公園
- 来場者数 約800人



西宮フラワーキャラバン
in すみれ台会場の様子

3 講座の開催

植物生産研究センターでは、きのこをきっかけに身近な自然について考える「きのこクラブ」と、植物バイテククラブについてわかりやすく楽しく学ぶ「植物バイテククラブ」を開催しています。

・きのこクラブの開催(平成30年5月～12月)

全11回開催 受講者数 延べ104名



講義の様子



原木栽培の様子

・植物バイテククラブの開催(平成30年6月～11月)

全7回開催 受講者数 延べ65名



植物バイテククラブ 実習の様子

4 防災緑化のための取り組み

市内の甲山などでは、近年、ナラ枯れ被害によりたくさんのコナラやクヌギなどの樹木が枯れています。西宮市では、ナラ枯れ対策として薬剤によるくん蒸(じょう)と伐採の処理を毎年実施しています。

一方、枯れ木を伐採した後の山の斜面などでは、雨が降った時に土砂が流失しやすくなる可能性があります。そういった場所で、土砂流失を防ぐための防災緑化について検討を行っています。

平成 30 年度における活動内容

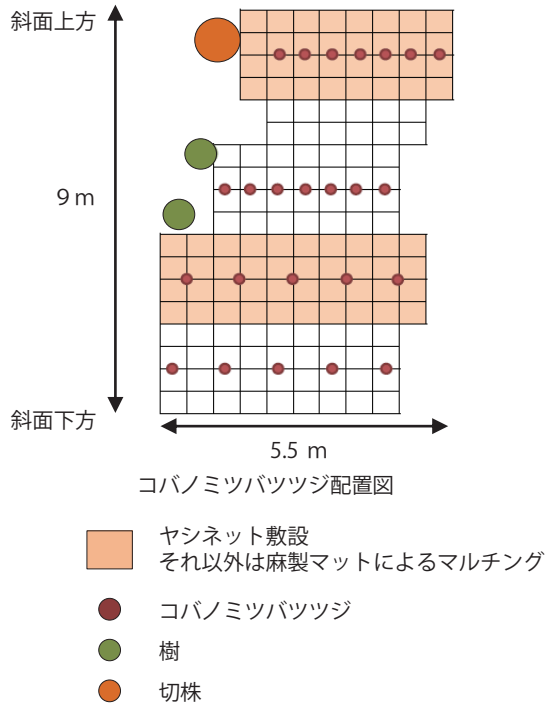
前年度コバノミツバツツジ試験植栽株のモニタリング調査

- ・ 地点 2 枯損率 8% 生残木の伸長 +8.5cm
- ・ 地点 3a 枯損率 30% 生残木の伸長 -10.9cm
- ・ 地点 3b 枯損率 30% 生残木の伸長 -1.7cm

今年度コバノミツバツツジ植栽実績

- ・ 植栽場所 地点 4
- ・ 植栽本数 24本

植栽に使用したコバノミツバツツジは、市民ボランティアと協力し、植物生産研究センターや花工房で育てた苗です。



コバノミツバツツジ植栽図

お問い合わせ先

西宮市役所 花と緑の課(植物生産研究センター)
〒662-0091 西宮市北山町 1-1 北山緑化植物園内
TEL : (0798)74-5970 FAX : (0798)71-2299
ホームページ : 西宮市ホームページより「植物生産研究センター」で検索